

小出記念日本語教育研究会 特別企画第1回ワークショップ

<http://koidekinen.org/> (入会手続きから入会してください。) 事前登録をお願いします。
会員：無料 (2018年12月25日までに会員であること) 非会員：2,000円 (資料代)



事前登録



2019年1月12日(土)



早稲田大学 早稲田キャンパス

受付 12時~13時

3号館3階 3-301教室

開会 13時 挨拶

第1部 13時10分~14時50分 (質疑応答含む)

早稲田キャンパス構内図

休憩 14時50分~15時10分

<http://ur0.work/NtZ6>

第2部 15時10分~17時00分 (質疑応答含む)

事前登録 以下のサイトから事前登録をお願いします。なお、事前登録をしていない場合でも参加することができますので、お誘いあわせの上、ご参加ください。 <http://urx.red/NsRi>

第1部のテーマ：日本語教育に役立つコーパスの使い方

講師1：砂川有里子 (筑波大学名誉教授, sunakawa0001@mac.com)



要約：このワークショップでは、国立国語研究所で開発された母語話者コーパス「現代日本語書き言葉均衡コーパス (BCCWJ)」と学習者コーパス「多言語母語の日本語学習者横断コーパス (I-JAS)」について説明し、これらを日本語教育の研究に活用した事例を紹介します。また、これらのコーパスを使うための検索システム「NINJAL-LWP for BCCWJ」と「中納言」の使い方について演習を行います。参加者はなるべくパソコンをご持参ください。事前にBCCWJ通常版とI-JASのユーザー登録<<https://chunagon.ninjal.ac.jp/useraccount/register>>をお願いします。

第2部のテーマ：日本語教育に役立つWEBサイトの使い方

講師2：玉岡賀津雄 (名古屋大学教授, tamaoka@nagoya-u.jp)



要約：5つのサイトを紹介します。(1)「日本語読解学習支援システム・リーディングチュウ太」(川村・北村)=文章に含まれる語彙の難易度や用語解説が自動的に検索できるほか、独自の読解教材の作成にも有効。(2)「日本語文章難易度判別・学習者作文評価システム」(李・長谷部・久保)=書かれた文章の難易度判定や日本語学習者の作文評価に有効。(3)「日韓中越同形二字漢字語データベース」(于・朴・熊・ホアーン・張・玉岡)=旧日本語能力試験2級までの2,058の語彙について日韓中越の4言語の品詞、使用頻度、日中の意味的分類、音韻的類似性などの情報が検索できる。(4)「基本動詞ハンドブック」(プラシャント)=多義の基本動詞について、基本義から様々な意味の派生を分かりやすく解説している。(5)「常用漢字2,136字の特性および2字漢字語検索データベース」(Tamaoka, Makioka, Sanders & Verdonschot)=常用漢字の重なり・延べ使用頻度、六書分類、音・訓読み数、意味数、Nelsonの日英辞典の漢字ID、画数、部首などの情報を検索できる。常用漢字から2字漢字熟語(使用頻度情報などを含む)を検索することもできる。玉岡ホームページ <http://tamaoka.org/>

連絡先：名古屋大学大学院人文学研究科・日本語教育分野 (教授) 玉岡賀津雄
tamaoka@nagoya-u.jp 同大学院 (助教) 張婧禕 jingyizhang@nagoya-u.jp